

# 活動ノート



## 6月26日(日) 作業用道具の数量確認、整備 及び整理

12:45~15:00

◆参加者：鎌田、榊、林、川上、  
織田、国広 計6名



◆内容：今回新たに作成した『備品台帳』（従来の“道具チェックリスト”と“備品購入履歴”の項目を合わせた一覧表）を基に地下備品庫内の作業用道具の数量確認を行うと共に、使用頻度の高い道具の出し入れをし易くする為、道具箱の中身の一部入れ替えを行いました。それに伴い道具箱の記名票も書き換えました。また、ヘルメット（最近利用実績がない子供用除く）の洗浄、備品倉庫内の整理も行いました。伐倒セットが2セットになったので、管理を容易にする為、セット毎に違った色のテープを道具に付けました。

梅雨のさなかですが幸い天気  
に恵まれ、外での作業も行うこと  
が出来ました。参加されたみなさ



んの手際の良さで効率よく作業  
ができました。日頃お世話になっ  
ているヘルメットを、洗剤を使っ  
て洗えたのは良かったです。今後  
とも備品台帳の更新を行い、更に  
使い易い備品倉庫にできればと  
思います。

### 【ふりかえりより】

- 道具の整理ができて、地下倉庫  
がすっきりしました。（鎌田）
- 次回からきれいなヘルメットを  
どうぞ（川上）
- 備品庫の整理ができ良かったで  
す。（国広）

## 7月10日(日) カブ森整備作業（下草刈り） 12:45~15:00

◆参加者：鎌田、松雪、榊、長澤、  
織田、鈴木、橋本 計7名

◆内容：当初の計画ではA、C地



区で作業を行う予定でしたが、天  
候と参加者数から A 地区を中心  
に、主にササやイタドリを草刈り  
しました。A 地区にもクヌギの萌  
芽枝があり刈り取らないように  
注意しながら作業を行いました。  
遊歩道の両脇の草刈りも行い遊  
歩道がすっきりしました。

繁殖力が旺盛なヒメヒオウギ  
ズイセン（園芸種）を根絶するた  
め、観察小屋横と A 地区飼育小



屋横とB地区斜面 で引き抜きを  
行いました。小さな球根が地中に  
少し残りましたがほぼ完了しま  
した。

午後にセンター行事（カブトム  
シやクワガタの生態）に参加のみ  
なさんがカブ森を散策に来られ  
ました。その際に 鎌田代表から  
森会の活動の紹介をしました。他  
にも虫取り網を持った家族連れ  
の姿もありました。蒸し暑い日だ  
ったので、休憩を多めにとり、た  
くさんの汗をかきました。

### 【ふりかえりより】

- 草の成長の凄さには驚かされま  
す。（松雪）
- ファミリーの楽しそうな声が聞  
こえていました。いつまでも楽し  
く過ごせる油山の森にしていけ  
ればと思います。（織田）

## 7月23日(土) 18:00 ~24日(日) 11:30 昆虫調査

◆参加者：鎌田、静岡、新牛込家  
（4名）、富永、宮田家（3名）、  
鈴木秀文家（3名）、鈴木隆史、  
橋本、織田、新川、森山、吉田、  
雪丸、村山、栗田、毛利、今林、  
吉永、井上 合計26名  
ゲスト：小藤先生、白石先生

◆内容：今回は柏陵高校生 10名



を加え昨年の3倍以上の人数でのスタートとなりました。また、初めて博多昆虫同好会カミキリムシ屋さんの白石さんにも参加いただきました。食べ盛り的高校生が多かったこともあり、やや食材不足となるほどで、予定時間よりも早めに終了し全員で後片付けを行いました。

その後は夜の昆虫観察をしながらカブ森へ向かい、途中で特大のアズマヒキガエルを見つけたりしました。観察小屋到着後はセンター行事の一般参加者と交ざってライトトラップに集まってくる昆虫などの観察をしました。21:30には23日のみ参加メンバーは帰宅の途に着きました。20:30~22:00の約1時間半で約37種類の昆虫を撮影&同定できました。

直前の天候が晴れ続きで当日は月もだいぶ満ちており、昨年よりも昆虫の飛来が少なく、その分種類も少なめでした。しかし、これまで同定できていなかったニセノコギリカミキリが白石先生のおかげで同定できました。また、一般宿泊者が8組ほど見学に訪れましたので、カブ森や森会の紹

介と簡単なライトトラップの説明をおこないました。

22時で高校生は就寝し、その後の観察は、小藤、白石両先生と森会の大人4名で行いました。トラップの見張り番をしつつ目立った昆虫を朝の同定作業のために採り置きして34種類ほどを集めました。今年はカブトムシに関しては大収穫でした。また、図鑑にないゾウムシ(まだらな茶色で白点が4つ)がみつかりました。

2日目は早朝から大人4名と先生お二人で同定作業を行いました(計58種)。その後、早めに朝食にし、みんなでうどんをすずりました。その後は2日目参加メンバーが合流し、トラップ回収とルート観察を行い、観察センターに戻って同定作業に取り掛かりました。トラップも今年是不作でそれほど時間もかからず終了し2日間合計で78種同定となりました。

みんな眠そうでしたので帰りに居眠りしないように注意喚起して、予定より30分早い11時半に解散となりました。

#### 【ふりかえりより】

- ・夜の油山は昼と印象が違い、見られる昆虫も全く違ったのでとても新鮮でした(今林)
- ・今年も蛾と戯れることができ大満足です!ありがとうございました(吉田)
- ・カエルがあんなに大きいとは思

いませんでした。初めて見て感動しました(鈴木隆)

8月6日(土)

9:30~14:30

#### 昆虫調査

◆参加者: 鎌田、静間、新牛込家(4名)、森山 合計7名  
体験: 清水家(3名)



◆内容: 今回は森会7名と前半の昼過ぎまで体験参加された清水さんご一家(父・母・息子4歳)の合計10名でのスタートとなりました。

天気予報が昼過ぎから雷雨となっていたため、予定をやや変更し午前中にルート観察とトラップ回収を終わらせて昼にはセンターへ戻ることにしました。

体験参加の清水さんご一家の到着を待ってセンターを出発。カブ森へ向かう途中もニセノコギリカミキリやウスバカゲロウなど色々な昆虫を採集。カブ森到着後はスズメバチに気を付けながらバツタ類やチョウ・トンボ・セミなどが採集できました。しかしながら、最近の気温の高さの影響かはわかりませんが今回も昆虫がやや少なめの印象でした。



11時過ぎには観察小屋を出発しトラップを回収しましたが・・・ここでも入っている昆虫が近年になく少なめでした。特に近年かなりの数がかかるカブトムシは、かなり小さめのオス1匹だけでした。前回7月は大型カブトムシが多数観察できたことから考えると例年よりもカブトムシの出が早くなっていたようです。

(カブトムシは栄養状況の良い大きいものから先に羽化していくことが多い)

センターで昼食の後、採集した昆虫と、回収したトラップにかかった虫などの同定をして、予定よりも30分早めに終了となりました。成果は少な目の41種となりましたが、体験参加の清水さんご一家には楽しんでいただけたようで何よりでした。

#### 【ふりかえりより】

- たくさんの虫を見ることができてとても良かったです(森山)
- トラップの虫は少し少なかったが、カブトムシはいたので良かったです。これまでに見なかった種がいくつか見付けられたのも良かったです(新牛込清成)

8月21日(日)

9:15~15:30

活動説明会「森の工作教室」

◆参加者：鎌田、松雪、長澤、林、宮田、宮田啓、新地、今林、吉永、森山、藤木、井上 計12名  
ゲスト：松雪さんお孫さん



一般参加者：24名

◆内容：残暑が例年にも増して厳しい真夏の開催となりました。始めにレクチャールームで、自然の上手な利用が保全につながることをレンジャーから説明し、そのあとネイチャーゲーム(はじめまして)でアイスブレイク。続いてイモムシやアリジゴクの巣と触れ合いながらカブ森へ移動し、カブ森では鎌田代表の案内でC→B→Aと散策。休憩小屋で4班に班分けして、工作メニューである「木のパズル」と「バードコール」の作り方などを説明したあと、そのまま昼食時間としました。

工作作業は2班ずつ交代しながら、木のパズルとバードコールに取りかかってもらいました。木のパズルは、樹種を明示した丸太(クロガネモチ、イチヨウ、スギ、ヤブツバキ、ヤマザクラ、クスノキ、リョウブ)からプレートを切り出すところからはじめます。固い木や柔らかい木をノコギリで実感しながらがんばってもらいました。家族分のコースターを切り出すためがんばるお父さんも見受けられました。プレートを切



り出したら休憩小屋でお絵かきし、ハンマーで割ります。スギ以外のプレートはなかなか割りづらく四苦八苦していました。バードコールは好きな枝にドリルで穴あけ。この枝も樹種(リョウブ、ネジキ、ヤマウルシ、ヤブツバキ、クヌギ、スダジイ、エノキ)を明示しました。切り出した持ち手にネジをねじ込む時に、持ち手が小さすぎると割れることがあり、割れないサイズを探りながら行いました。前は腐れがあったため音がならない方もいましたが、今回は森作業後の枝を保管していたので、しっかり音がなりました。最後の記念写真もみなさんにこやかで、素晴らしい活動説明会になりました。

#### 【ふりかえりより】

- 参加者の皆さんとたくさんお話しができて良かったです。(吉永)
- トリ笛がとても鳥の声に似ていたのに驚いた。(長澤)
- 怪我もなく、皆さん楽しんで作ってくれました。(鎌田)
- バードコールの音が鳴った時の嬉しそうな顔を見るとこちらも嬉しくなりました。(新地)

